

ふじみ野市の お金の使いみち

～ 令和元年度 決算について ～



ふじみ野市 総合政策部 財政課
令和2年9月

目次

1. 決算ってなに？・・・・・・・・・・ 1
2. 詳しくみてみよう～歳入～・・・ 2
3. 詳しくみてみよう～歳出～・・・ 3
4. ふじみ野家（市）の家計簿・・・ 4
5. ふじみ野市の借金と貯金・・・ 5

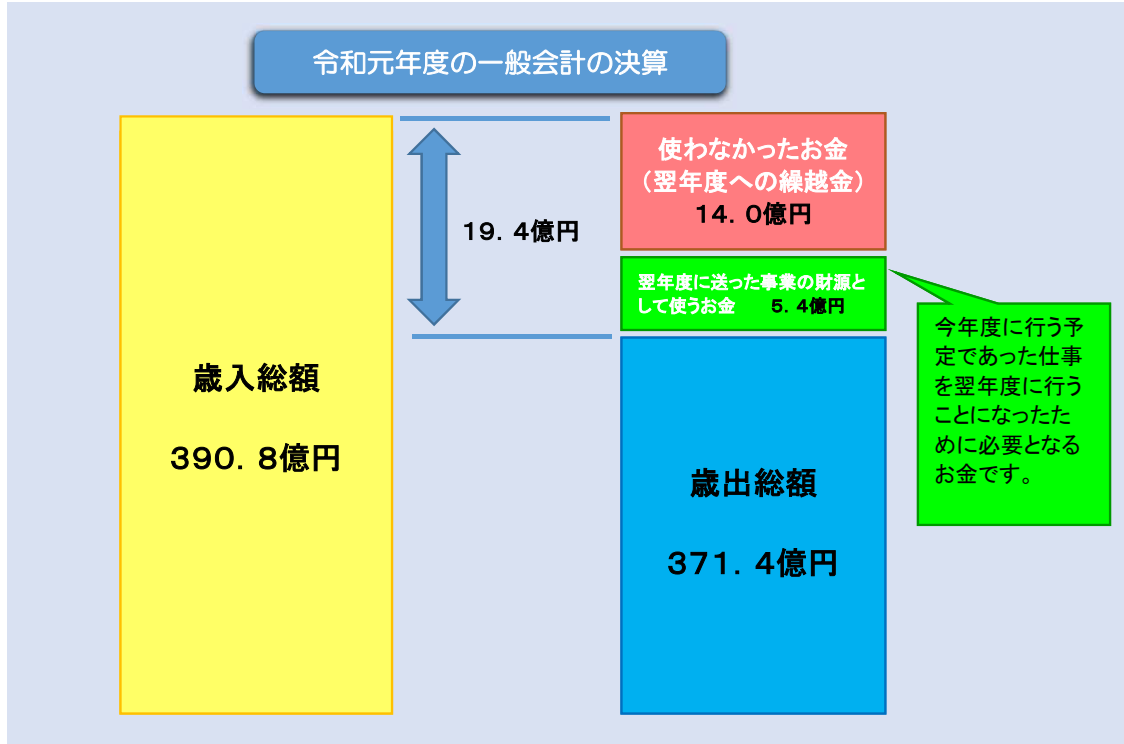


1

けっさん 決算ってなに？



1年間（4月～翌3月）に入るお金（歳入）と使うお金（歳出）の計画である**予算**に対して、決算は、その実績を示したものです。

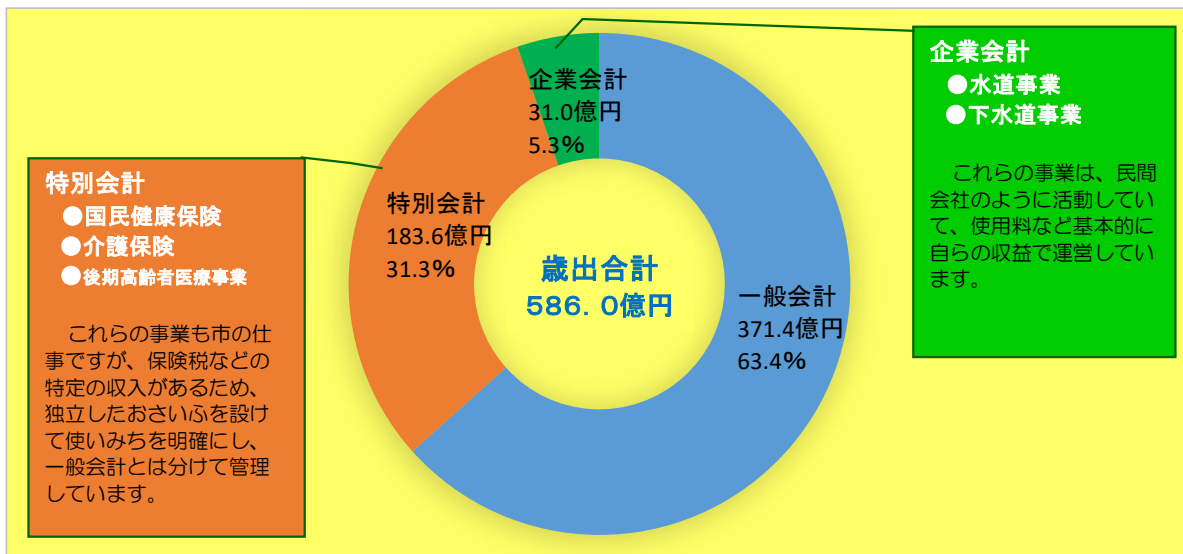


一般会計って？

福祉や保健、ごみ処理、道路や公園の整備、消防、教育など、市の基本的な仕事を行うための市で一番大きなおさいふです。主に市税で賄われています。

他にもどんな会計があるの？

特定の収入があり、その使い道を明確にするため、一般会計とはおさいふを分けて管理している事業があります。



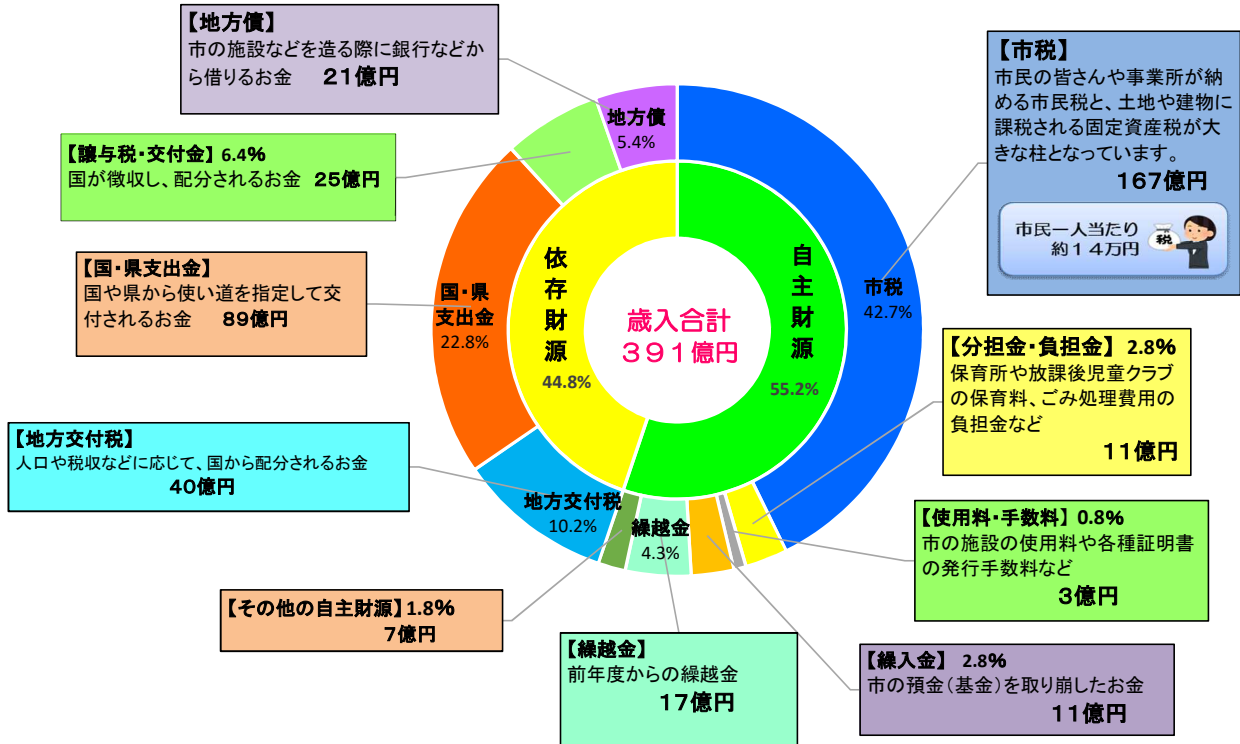
2

詳しくみてみよう～歳入～

令和元年度のふじみ野市の収入額約391億円のうち、市民のみなさんに納めていただいた市税の合計は、167億円（構成比42.7%）でした。

歳入の内訳

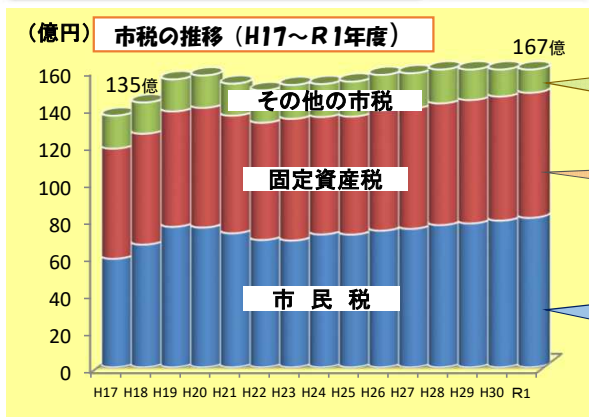
R2.4.1人口:114,477人



自主財源と依存財源？

「自主財源」とは、市税のように市が自ら集めることができるお金。一方「依存財源」は、国や県から交付されるお金。一般的には、自主財源の割合が高いほど自主的、安定的に市政が行われるといわれていますが、ふじみ野市は、国が返済の肩代わりをしてくれる有利な借金（地方債）と国や県などの補助金を活用しながら小学校大規模改造事業などの大規模な建設事業を行っていることから、依存財源の比率が高い傾向にあります。

市税にはどんなものがあるの？



その他の市税

たばこを買った方が納める「たばこ税」や、軽自動車などを取得した方や持っている方が納める「軽自動車税」、市街化区域に土地や家などを持っている方が納める「都市計画税」があります。

固定資産税

土地や家などを持っている方が納める税です。

個人市民税

市民のみなさんが所得に応じて納める税です。

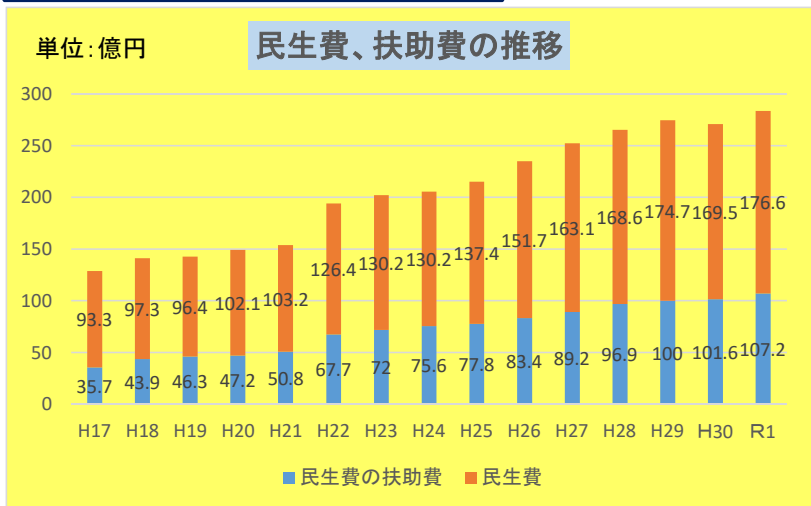
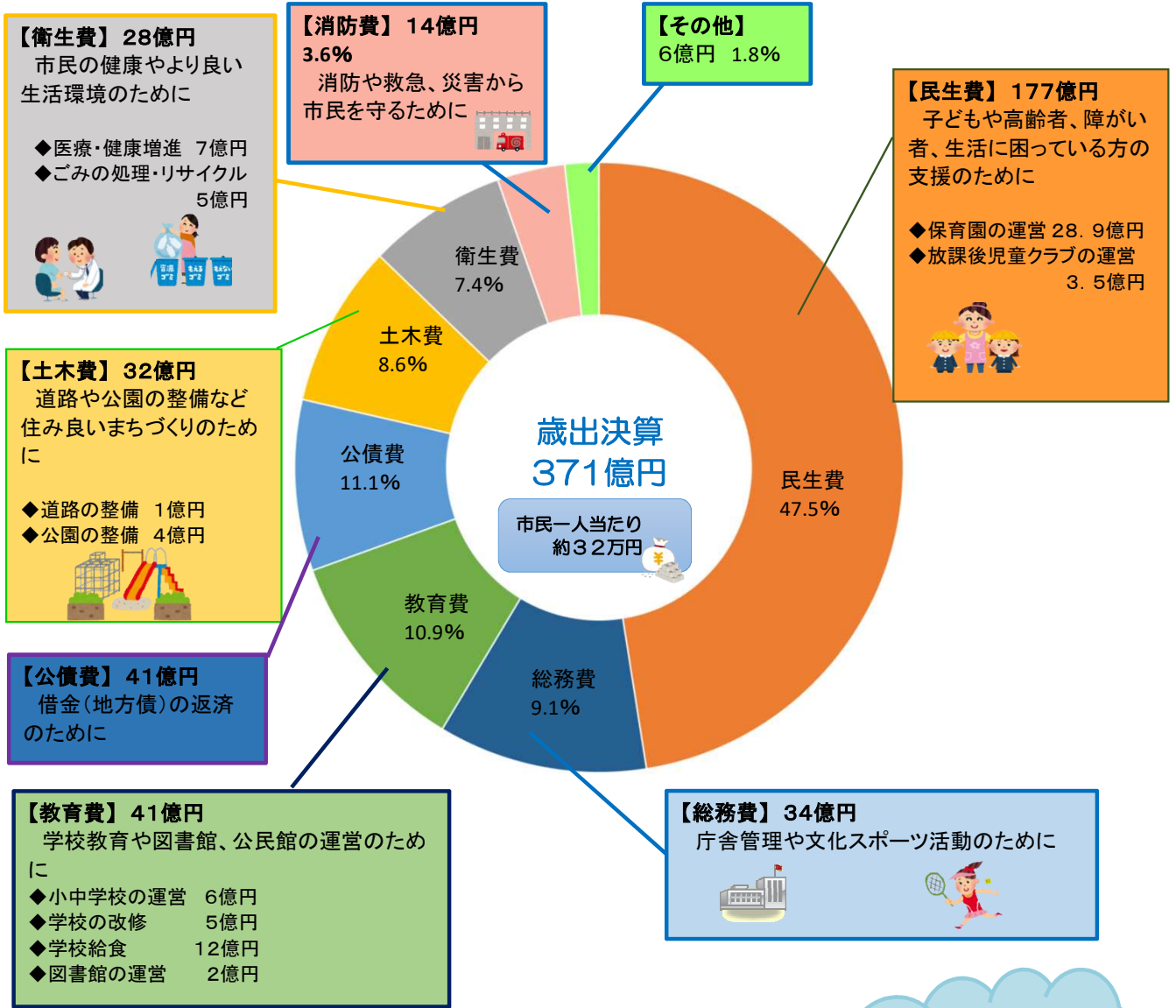
法人市民税

市内の会社が収入などに応じて納める税です。

3

詳しくみてみよう～歳出～ なんのために使ったの？

令和元年度のふじみ野市の支出額は約371億円でした。
 これは市民一人当たりで表すと約32万円の支出をしたことになります。
 民生費と教育費で全体の約60%が使われています。



「民生費」は、ふじみ野市が誕生した平成17年度と比較して約1.9倍に増加しました。
 そのうちの生活保護費や子育て世帯、高齢者、障がい者の生活を支援するための「扶助費」は約3.0倍に膨らんでいます。



4

ふじみ野家(市)の家計簿～11万人の台所事情～

年収約391万円の
家計に例えると…

令和元年度のふじみ野市の決算額を10,000分の1にして、
家計簿に例えてみました。



収入

●給料	231万円
・基本給	167万円
・市税	
・諸手当	64万円
	地方交付税・譲与税など
●パート収入	22万円
	使用料・手数料など
●祖父母からの仕送り	89万円
	国・県支出金など
●ローン(借入金)	21万円
	市債
●貯金の取り崩し	11万円
	繰入金
●繰越金	17万円
	繰越金



収入合計 391万円

支出

食費や医療費、ローン返済などの「義務的経費」の占める割合が高くなっています。

●食費	50万円	義務的経費
	人件費	
●医療費	108万円	義務的経費
	扶助費	
●ローンの返済	41万円	義務的経費
	公債費	
●光熱水費など雑費	102万円	義務的経費
	物件費・補助費等	
●車などの修理代	3万円	義務的経費
	維持補修費	
●子どもへの仕送り	34万円	義務的経費
	繰出金	
●家や庭の建築・改修	20万円	義務的経費
	普通建設事業	
●貯金など	13万円	義務的経費
	積立金	

支出合計 371万円

収入合計391万円から支出合計371万円を差し引いた20万円のうち、今年度終わらなかった家の建築・改修等6万円を差し引いた14万円が節約して手元に残ったお金になります。
この14万円は、次年度に繰り越して使用することになります。

用語の説明

人件費	職員の給料など
扶助費	生活保護費のほか、子育て世帯や高齢者、障がい者への支援などに係る費用
公債費	借金の返済
物件費	光熱水費、事務費、臨時職員の賃金など
補助費等	補助金、負担金など
維持補修費	施設の維持管理に係る費用
繰出金	特別会計の運営を補うための費用
普通建設事業費	道路・学校などの建設や大規模な改修などの整備に係る費用
積立金	基金への積立金

5

ふじみ野市の借金(市債)と貯金(基金)

市債ってなに？

市の借金のことをいいます。家計でいうローンをさします。

どうして借金をするの？

公共施設の整備には一度に多くのお金が必要になります。これをその年の収入だけでやりくりしてしまうと他の仕事ができなくなってしまいます。

また、公共施設は現在の市民だけでなく、将来の市民も利用するため、負担の公平性を考え、借金をして『現在の市民』と『将来の市民』で平等に協力してお金の負担をお願いするものです。

市債を使わないと・・・



現在の市民

費用負担なし



将来の市民

市債を使うと・・・

費用を協力して負担

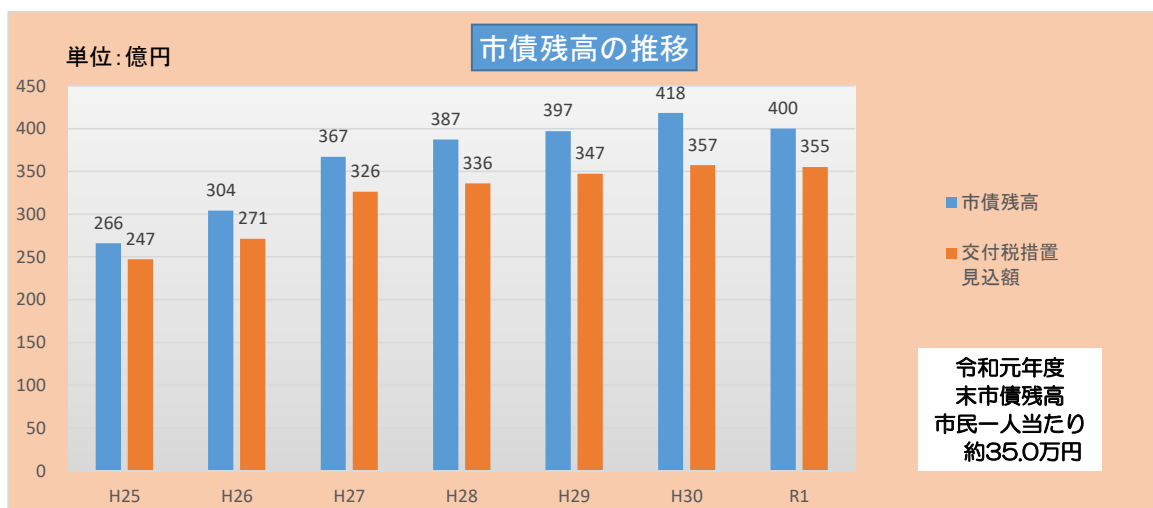


現在の市民と将来の市民

市の借金はどれくらいあるの？

令和元年度末の市債残高は、約400億円です。主に道路や公園、スポーツ施設、文化施設、学校などの公共施設の整備に使われています。

市債の中には、返済のための財源の一部又は全部を国が負担してくれるものがあり、ふじみ野市は、そのような市債を多く活用することで負担の軽減を図っています。

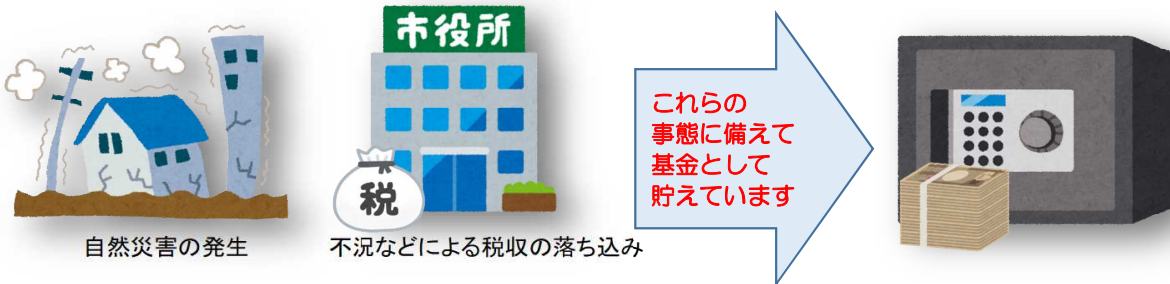


基金ってなに？

市の貯金のことをいいます。

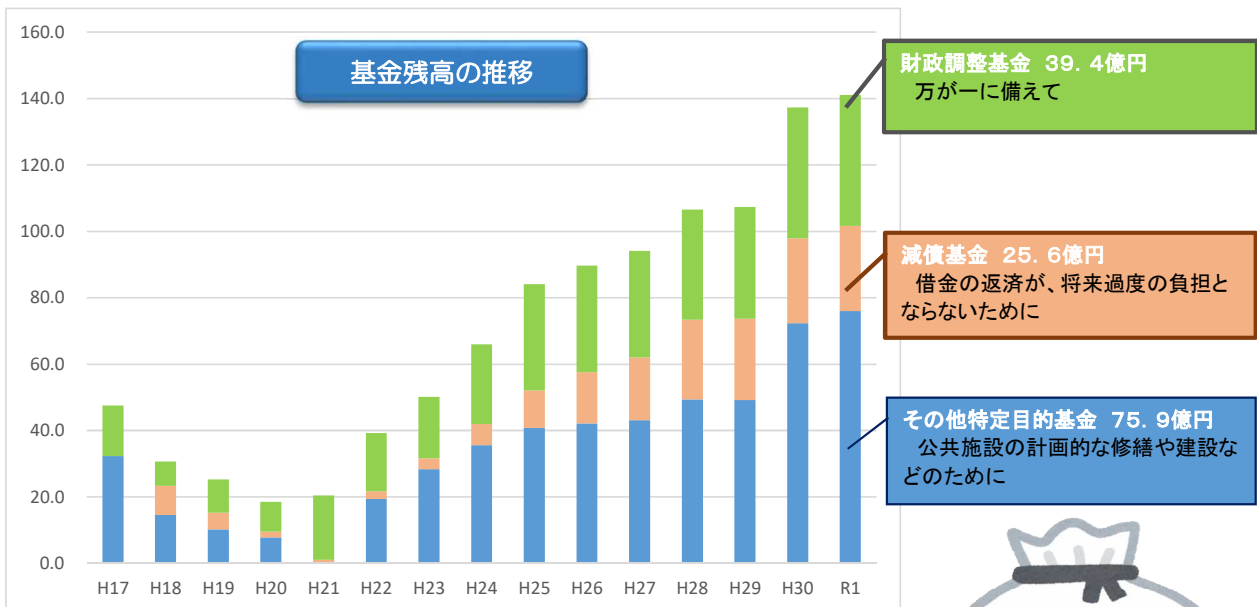
どうして貯金をするの？

市税などの収入は、経済の状況により変化し、一定ではありません。また、老朽化した公共施設の改修には一度に多額の費用を要します。さらに、大規模な自然災害など、不測の事態にも安定した市民サービスを提供していくため、備えておく必要があるからです。



基金の残高はどれくらいあるの？

ふじみ野市では、予期せぬ収入減や支出の増に備える財政調整基金のほか、借金の返済のための減債基金や特定の目的に応じて積み立てている特定目的基金があります。令和元年度末の基金の残高は、約141億円となっています。



市債（借金）の残高は年々増えていますが、市の負担が少ない市債を活用することや基金（貯金）を計画的に積み立てることで、将来の市民の皆さんの負担が大きくなるようにしていません。



発行者	ふじみ野市 財政課
住 所	〒356-8501 埼玉県ふじみ野市福岡1-1-1
電 話	049-262-9004
発行日	令和2年9月